

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102922
法人名	有限会社ケアサ-ビスはまゆう
事業所名	はまゆう堀江
所在地	松山市福角町甲200番地1
自己評価作成日	平成28年11月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年12月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

長閑な閑静住宅地の一軒家で、リビングは吹き抜け構造で開放感があり、庭園には畑 四季折の野菜や花壇がリビングから一望でき、共に過ごし 学び 支え合う関係を構築し、喜怒哀楽を共にして、健康管理を行っている。日々の暮らしの中で、得意分野を活かし、農作業をしたり、新鮮な野菜や果物を収穫して楽しく和やかな雰囲気でお食卓を囲むのが家の象徴である。夏季には、窓辺のカ-テンと題して、利用者がリビング窓辺にゴウヤを植えて観賞 成長収穫 味覚 一連の評価をして満喫され、俳句したり、共遊 共楽 共感しています。利用者にとってドライブが唯一の楽しみであり、手作りお弁当や自作の巨大なスイカをもって和気浜海岸散策等四季折の五感を味わいながら楽しんでます。環境に恵まれた地域下で、散歩したり、地域の方との出会いを楽しみ、来所されたり、様々な分野で個々の残存能力を発揮し、のびのびと自由な暮らしを送りながら、地域に根ざしたアットホームなわが家を目指しています

調査訪問時、利用者が笑顔でお茶を運んで来てくれ、管理者は「いつもありがとう」と声かけていた。又、利用者の一人がハワイアンソングを歌い、二人がフラダンスを披露し、皆で拍手して楽しんでた。「何か手伝うことはないか」と申し出る利用者もあり、利用者それぞれに応じた役割、出番作りに力を入れて取り組んでいる。俳句を褒め合ったり、車いすを押す等、利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援している。  
毎日の朝礼では、利用者へ今日の過ごし方してほしい事等、夕べの集いでは、一日を振り返って楽しかったことや印象に残ったこと等を述べてもらい、個々の思いや希望の把握に取り組んでいる。年頭にあっての利用者の目標「今年一年皆さんと仲良く元気に過ごせますように」「皆で楽しく笑えることがしたい」「歩け歩け今年も元気で長生きできるように」等を自筆で短冊に書き、掲示していた。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 はまゆう堀江

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 近藤 美由紀

評価完了日 28年 11月 20日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<b>(自己評価)</b> 理念に「自立 自発 環境 地域との交流」を掲げ全の職員で共有し反復しながら、理念に基づいたケアの実践を目指し取り組んでいる。本人の気付きを大切に残存能力を発揮出来るよう環境に努め、日々の中で全の職員が意識し、地域の方と交流を深めて実践に努めている。	
			<b>(外部評価)</b> 理念に基づき、利用者の自発性を尊重しながら、管理者(法人代表者)と職員は、一丸となって利用者本位の支援に取り組んでいる。理念は、モットーとする「皆でわが家を守りましょう」と共に、居間に掲げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<b>(自己評価)</b> 事業所は、地域の一員として地域活動に参加したり、回覧したり、日常的に相談しながら 近隣の方と気軽に声掛けあったり、立ち寄って頂けるような環境に努めている。農作業を通じて種 苗 収穫物と交換 おすそ分けしたり、利用者が野菜の種取ってあげたり玄関には、菊花の展示して頂いたり、一連の作業で幅広い分野で交流が深まり、地域に根ざした事業所を目指している。	
			<b>(外部評価)</b> 利用者が地域の一員として、近隣の住民と顔馴染みになれるように、日常的に地域の中に出かけたり、気軽に来訪してもらったりして、相互交流できるよう支援している。近所の方が、「最近、散歩している中に〇〇さんの顔が見えないが、どうしたのか」と心配して寄ってくれることもある。又、利用者が俳句をたしなむことを知り、全員に「俳句手帳」を持ってきてくれ、利用者は早速、句作に活かしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<b>(自己評価)</b> 地域との交流を深め認知症の理解を得られるように努めている。認知症講座に地域の方と一緒に参加したり、営推進会議を通して反映したり、地域の行事参加や農作業等様々な分野から声掛けて頂いたり、理解得られるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議開催にて、利用者の状況 サービス内容を報告し、貴重な意見交換ができ、更なるサービス向上に努めている。	
			(外部評価) 会議には、家族、現及び元民生委員、老人会会長、団地会長、元介護相談員等が参加している。利用者の状況、行事報告、外部評価結果や事業所に寄せられた苦情についても詳細に報告し、現状を知ってもらい、意見交換を行っている。散歩中に親しくなった方が、次回から会議に参加してくれることになっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通して、行事 日々の利用者の活動状況等相談にも柔軟に指導して頂いている。	
			(外部評価) 管理者は、市主催の「認知症高齢者見守りSOSネットワーク及び認知症サポーター養成講座」に、地域の住民3人と参加した。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全職員は身体拘束の内容とその弊害を認識し身体拘束しないケアの取り組みに努めている。「どんな事があっても拘束は行わない」姿勢で安全に向けたケアをカンファレンス等にて意見交換している。門扉開放しており、玄関は施錠せず居間は開放感あり行動制限もしないように努めている。	
			(外部評価) 玄関は施錠しておらず、室内からはガラス越しに庭の景色が見渡せる。毎月のカンファレンス時に、身体拘束について必ず話し合っている。調査訪問日の昼食時には、車いすを使用する利用者も、椅子に座り食事ができるよう支援していた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待とは何か?研修を行い、精神的 身体的に気づかずして いないか、お互いに意見交換しながら虐待の徹底防止に努 めている。 やも得ない状態時は、家族と相談したり、多様な 観点から情報交換している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の 必要性を関係者と話し合い、それらを活用できる よう支援している	(自己評価) ミーティング等にて後見人制度の理解に努め専門者から青年 後見人制度についても学び関係機関の橋渡し等出来る様 に支援している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明 を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約や契約解除の際には、契約書にて説明を行い理解 疑 問や不安がないように充分説明している。解約時日程等も 相談しながら柔軟に行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員 並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運 営に反映させている	(自己評価) 朝礼にてその日の出来事等を利用者に話す機会を設けて 意見交換している。家族の面会時や運営推進会議 家族会 行事参加等にて、利用者の状態を報告したり、利用者が寄 せ書きして手紙書いたり様々な分野から意見や要望等反映 して職員の質と意欲の向上努めている。 (外部評価) 家族の来訪時や電話、毎月の手紙等で、利用者の暮らしぶ りを伝え、意見や要望を聞いている。家族会は、年2回程 度、運営推進会議前に開催しており、全ての家族に会議の 案内や報告を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の実践の中で個々利用者が快適な環境で暮らすことが出来るようにカンファレンス等にて意見交換したり、職員の役割や、ケアする意味、目的等解説し、一人ひとりのより良い暮らしを目指しスキルアップに努めている。 (外部評価) 管理者は、毎月の給料日に食事会を開き、職員だけで話し合う時間も設けている。ミーティング時には職員に意見を求めるが、あまり出ないようだ。昼休みは1時間設けている。外部研修には、年に1度は参加してスキルアップを図るよう義務付けている。個人的に相談があれば、管理者がその都度面談している。さらに今後も、個々の意見や提案を汲み取り、運営に活かして行ってほしい。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員の個々の環境によって勤務形態等希望を取り入れ事情も配慮し、労働時間等考慮し働きやすい環境整備に努めている。全職員のストレス解消等多様な面で食事会を行い、意見交換したり、各自が向上心を持って働けるような環境職場を目指している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 関連する研修資料を回覧し外部研修参加するよう働きがけ技術や知識を習得し内部研修にて職員間で共有し質の向上に努めるように育成している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同業者との交流を図り、日頃の職場内環境 緊急時の対応時等様々な分野に於いて意見交換しサービスの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 施設見学時利用者 家族の生活状況や要望に傾聴し利用者の思いや心身状態等把握して、安心して頼関係が図れるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談時家族の立場に立って家族の要望等傾聴し、受容しながら信頼関係を構築している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時利用者 家族の事情や要望を見極め事業所として出来る限り対応している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごす 学ぶ 支え合う関係を築き 職員と共有している。喜び 楽しみを共感し利用者の言動から学ぶ大切さ 尊厳 利用者の安心 安定を生み出し構築関係に努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や施設の状況等家族と情報交換を密に行い、一方的な関係だけでなく共に支えていく関係を構築している。利用者 と 家族の絆を大切に状況に応じて橋渡しし、共に支えあう家族関係に努める。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々の馴染みを大切に継続できるような環境を提供している。退所後も家族との出会いを楽しまれたり、好きな場所にお茶のみに行かれている。	
			(外部評価) 毎年、年賀状を幼馴染みや知人に出す利用者には、年賀状を用意して支援している。近所の方と馴染みの関係が継続できるよう、来所の際には、利用者が出迎えたり接待したりできるよう支援している。又、来訪の礼状を利用者の寄せ書きを交えて送っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 和気あいあいの家族関係が保たれている。利用者同士が共に助け合い、支えあいながら食事時には、配膳 下膳出来る方がされて、感謝の言葉で、温かい利用者間の関係が保たれている。さらなる利用者が孤立せず共に楽しく暮らせるような環境を提供出来るように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も家族との関係を大切に柔軟な対応している。相談を受けたり、継続的な関係が保たれている。家族と利用者との関係が構築されて お花や 野菜 等差し上げたり、お土産頂いたり、メダカの子を頂き育生し、断ち切りなく退所後も交流している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の思いや希望、意向を介護計画に取り組み、困難 無理など決めつけず、全ての職員が一人ひとりの思いや意向について重視し、実現できるような環境を提供している。面会時には、好きな レモンティとケーキ食べに外出されたり、手作りお弁当持ってドライブに出かけたり、希望 意向を傾聴しながら取り組みしている。更なる本人の視点に立ってカンファレンスにて意見交換し、必要に応じて、家族と連携図り達成出来る様に努める。15周年迎えて個々の希望 思い等収集し叶えられるように実現し暮らしに満足感見られる。 (外部評価) 毎日の朝礼では、利用者へ今日の過ごし方やしてほしい事等、夕べの集いでは、一日を振り返って楽しかったことや印象に残ったこと等を述べてもらい、個々の思いや希望の把握に取り組んでいる。年頭に当たっての利用者の目標「今年一年皆さんと仲良く元気に過ごせますように」「皆で楽しく笑えることがしたい」「歩け歩け今年も元気で長生きできるように」等を自筆で短冊に書き、掲示していた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者個々の生活歴や生活環境を収集し、馴染みの暮らしが継続して、送れるように努める。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日起床時にバイタルチェック実施し、健康管理に努め朝礼にて、一日の過ごし方等相談したり、個々のできる力 わかる力等発見し、役割や生き甲斐に繋げ取り組みしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人の想いや意向を収集し、家族の意向を大切に、充実した暮らしが出来るように介護計画作成し、計画に基づいて、実践課題とケアについて、本人 家族 関係者と話し合い、気付きや意見を反映し必要に応じて家族 地域 ボランティアの支援も取り入れて介護計画を作成している。年始には、個々の思いや希望等利用者が、短冊に書初めし、介護計画にて全ての職員が反映して実践出来る様に努めている。</p> <p>(外部評価) 利用者、家族の思いや意向を取り入れ、介護計画を作成している。「地域との交流を深め、共有、協働して楽しむことができるよう」計画に取り入れ、支援しているケースもある。毎月モニタリングを行い、6ヶ月毎の評価、見直しにつなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の様子やケアの実践、結果 気づきや工夫を個別に記録し、職員間で情報を共有し、日々の記録を根拠にしながら介護計画の見直し達成出来るように努めている。更なる見落としのないように申し送り帳を全ての職員が重視し、実践に繋げている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 本人や家族の状況や要望に向き合い本人の暮らしを継続的に支えることを大切に多様な支援に取り組んでいる。四季行事様々な状況の中で出現するニーズに対応して、個別に柔軟な支援が出来る様に努めている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 住み慣れた地域で個々の出来ることを共有し、地域の回覧を利用者と共に配布したり、個々の残存機能を発揮し楽しい暮らしが出来るように支援する。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 受診時は、家族 本人の意向を重視し希望に沿って同意得ている。事前に家族に連絡し代表者が同行して情報提供している。結果は、家族に説明し、今後の方針等相談して適切な医療が受けられるように医療機関と連携を図っている。</p> <p>(外部評価) 入居前のかかりつけ医の受診を継続できるよう支援している。かかりつけ医の受診には、必ず管理者が同行し、医師との関係性を築いている。月に2回、往診してもらう利用者が1名いる。入居時、睡眠薬や安定剤を服用していた利用者には、昼間の活動内容を工夫する等、医師とも相談しながら薬剤に頼らない支援に取り組んでいる。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 毎日バイタルチェック行い、心身状態 食事 排泄等看護職員に伝達し情報を共有し必要に応じて医療機関と連携図って個々の健康管理に努めている。受診時は、看護師が同行し結果は、全ての職員に周知し、今後の方針等相談し、健康管理に努めている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時状態に応じて可能な限り、職員 利用者が面会し、安心して治療が出来るようにしている。利用者のストレスや負担軽減の為家族と相談しながら医療機関に本人に関する情報の提供を行い早期退院が出来るように医師と面談し相談している。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 代表者は、入居契約時に重度化した場合や終末期について本人 家族 関係者から意向を聴取し、終末期あり方について事業所の方針を充分説明している。利用者の状況に応じて全ての職員で検討し、本人 家族 関係者の意向等確認し医療機関と連携図りながら支援する。</p> <p>(外部評価) 現在、2名の家族が「最期まで事業所で」と希望している。利用者の中には「テレビを見られる間は治療してほしい。テレビが見られなくなったら治療しない」と希望する方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 利用者の急変時や事故発生時に慌てず適切な初期対応や応急手当が出来るように全ての職員で共有し、ミーティングにて演習を行い、ヒヤリハットや事故報告書を提出し、検討会議実施を行い再発防止に努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議等にて利用者の状況を報告し、災害時の具体的な非難対策について検討し、非難場所 避難誘導 経路等利用者と共にシミュレーションを行い、発生時には迅速に対応出来るように日々の訓練強化している。消防署、地域 家族関係者等と運営推進会議の中で訓練を行い地域 関係者との協力体制を構築している。備蓄等も定期的に点検を行い、万一発生しても生活に支障軽減出来るように努めている。 (外部評価) 3月と10月に、避難訓練を夜間や地震想定で実施しており、運営推進会議と併せて行うこともある。利用者にも意識を持ってもらえるよう、3つのグループに分けて責任者を決めて、互いに助け合って避難できるよう、日頃から声かけしている。次回の運営推進会議では、防犯をテーマに話し合う予定となっている。	事業所の近辺には河川があるという立地条件を踏まえ、今後もいろいろな想定で訓練を実施し、地域との連携もさらに深めて災害に備えて取り組みを重ねていってほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者個々の誇りを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。人前であからさまな介護 誘導の声掛け等は避け、さりげなく声掛け配慮する。個々の役割や自発的に行動出来る環境を提供し、共に過ごし 学び 支え合う関係を構築する。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が笑顔でお茶を運んできてくれ、管理者は「いつもありがとう」と声かけしていた。又、利用者の一人がハワイアンソングを歌い、二人がフラダンスを披露し、皆で拍手して楽しんでいた。「何か手伝うことはないか」と申し出る利用者もあり、利用者それぞれに応じた役割、出番作りを力を入れて取り組んでいる。俳句を褒め合ったり、車いすを押す等、利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個々の思いや 希望を意図的に引き出す取り組みの大切を全ての職員に周知し、表情や反応を汲み取りながら本人の希望や思いが表現できるような環境を提供出来るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の生活リズムや、本人がしたいと思っていることを大切に優先し希望に沿って全ての職員が利用者に合わせて、日々の暮らしがその人らしいものになるように支援する。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の心地 落ち着き等考慮し、一人ひとりの個性 に希望に応じて外出時等整髪 服装の身だしなみやおしゃれを個別に支援し、職員の一方的な価値観は避け本人の好みや残存力に応じた支援に努める。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日々の暮らしの中で食事は利用者にとって楽しみの一つ、一日の大切な活動 力の発揮や参加 利用者との関係を構築し食事一連の作業を利用者と共に行い、楽しいお茶の間で新鮮な野菜果物をもっとし、季節毎に美味しく味覚を味わう事が出来る環境がわが家の象徴である。配膳 下膳も自発的に行い出来ない方への気配りも自らされ利用者同士の支え合いが出来和やかな雰囲気の中で食事が出来ている。夏季には、全の利用者がリビング窓辺に緑のカーテンと題し、ゴーヤを植えて、観賞したり、成長を楽しみ、収穫して 献立して満喫され俳句して楽しみ共遊出来る一連も見られ幅広い分野で活かされて感動している。更なる四季折の環境に努めている。	
			(外部評価) 利用者として育てた自家製の無農薬野菜や果実をふんだんに使って調理し、献立はタベの集い等で利用者の希望を聞き取りメニューに取り入れている。調査訪問日の昼食は、利用者で話し合って決まったという大根飯だった。食事時には、テレビを消してクリスマスソングを流し、「いつもおいしいのよ。盛り付けもきれいでしょ」と言う利用者もいた。刻み食やミキサー食の必要な利用者には、その日の食事の内容や希望を踏まえて、臨機応変に対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 疾病状態に応じて個々の水分や食事量 体重や活動をチェックしカロリー-の過不足や栄養偏り、水分不足等について、日々記録し全ての職員が状態情報を共有している。定期的に医師と連携回り、必要に応じて検査し、バランスの調整が取れているか専門的にアドバイス受け支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性を全ての職員が理解し、本人の習慣や有する力を活かしながら毎食後の嗽や口腔内の手入れ 清潔維持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> <p>個々の排泄習慣を把握し、最初から出来ない決めず日中は、トイレ誘導にて気持ちよく排泄出来るように促している。全ての職員は、排泄チェックシート等活用し、自立支援に向けた取り組みを行っている。本人の意欲や自信の回復 食や睡眠等の身体機能の向上に繋げて排泄有無が困難な利用者には、関わりに工夫して、さりげなく恥じらい心等に考慮して確認行い、個別の排泄支援に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中は、トイレで排泄できるよう支援している。居間のトイレには表に「今入っています。少しお待ちください」の札を掛けていた。パッド等の適切性については、話し合っ状態に合った支援を行っている。夜間のみ、居室でポータブルトイレを使用する利用者が1名いる。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>利用者個々の一日の暮らし全体の中で食事 排泄 活動等の見直し自然排便を促す工夫を個別に支援している。下剤や浣腸等に習慣化しないように個別の状態に合わせた排泄習慣を徹底し自然排便を促している。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入浴前には、健康状態確認し、利用者個々の希望や思いを大切にシャワー欲 湯船に入る方自由選択している。脱衣裸になる 恥じらい心 恐怖心 身体の負担等に全ての職員が理解し入浴を拒む利用者に対し言葉掛けや対応の工夫 チームプレイ等によって一人ひとりに合わせた入浴支援をしている。 浴室内での状態を把握し、適切な声掛け(湯温度 湯のつきすぎ 同じところを何度も洗う)等行為中断にも配慮しながら支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>週2回、午前中に入浴できるよう支援している。冬場は全ての利用者が湯船に浸かって温まれるよう支援している。地域の方から届いたゆずを浮かべて、ゆず湯を楽しむこともある。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>一日の流れの中で一人ひとりの必要な休憩や睡眠が取れているか見直し、睡眠パターンを把握する。日中の活動 関わり方 環境や生活リズムを整え、総合的に視野に入れ服薬等に拘らず夜間安心して安眠出来るように支援している。不穏になりがちな利用者には、原因を解明し、安定出来るような工夫をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬管理は、管理者 看護師が管理しており、目的や副作用 量等その都度説明している。本人の状態 経過や変化に関する薬変更 中止等は、全ての職員が認識出来る様に日々の記録を行い確認出来る様に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日々の暮らしの中で個々の生活歴 役割 楽しみ 活力を引き出し個々の残存能力を發揮出来るように支援している。一連にせず個々の残された力が最大限に發揮出来るような得意分野を活かし、出番の場面を作り出し、楽しみながら気分転換出来るような、環境に努めている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 個別支援を継続し 毎日全ての利用者が散歩したり 戸外にて気分転換やストレス解消出来るように努めている。五感を活かし四季折のお花や野菜の成長 収穫等観賞したり、地域の方との出会を楽しみこれ機に気軽に来所されるような、近所付き合いが、深まっている。重度化しても全員で戸外で気持ちよく生き々と共に過ごされる環境を提供している。家族面会時等には、好きなお茶を飲みに出出できるような場面や機会作り、ドライブの好きな方は、ドライブに出かけ、五感の刺激等意図的に個々の希望に沿って支援している。 (外部評価) 日常的に散歩に出かけ、利用者は近隣の方とお話できることを楽しみにしている。利用者手作りのおむすび弁当や事業所で作った折箱持参で、四季を通じて外出できるよう支援している。和気の浜でスイカ割をした際には、利用者の発案で、食べ切れなかったスイカを近所におすそ分けした。畑の草取りや収穫に出かけたり、庭先でお茶を楽しんだり、回覧板を回したり、利用者個々に気軽に戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の状況に応じてお金の所持は異なり、使わなくても自分で所持することで安心したり、身に付けて楽しまれている。お金の一部管理したり 出納を確認したり必要な物買ったり出来るように支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 幼馴染に手紙出したり、頂き物の礼状 色紙 俳句等寄せ書きしている。自ら年賀状も書かれたり、思いを伝えたり、都度支援している。面会後には、必ずお礼の電話かけたり、される方もおられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用生活空間はやすらぎ居心地良く過ごせるようにソファ設置、畳の間には、コタツあり、団らんの場として自由に出来るように、我が家の象徴である。リビングは、吹き抜け構造で明るく開放感あり、室内には温度計設置して、適宜温度調整している。輝かしく日差しを浴びて室内には観葉植物 季節の花を生けたり、利用者共に環境に取り組んでいる。夏季には、西日が強く日よけにリビング窓辺に緑のカーテンと題してゴーヤを植え、全ての利用者が成長を楽しみ観賞したり、献立して和やかな雰囲気満喫されている。玄関先には、庭 花壇が一望できるようにドア開放し、ベンチ設置して五感を刺激し(花 果物 野菜)日々楽しく観賞されて過ごされている。</p> <p>(外部評価) 門から玄関までのアプローチには、四季折々の草花が咲き、野菜が実り、利用者の憩いの場所となっている。調査訪問時には、利用者として作成したイルミネーションを設置していた。玄関には、華道の先生だった利用者が活けた皇帝ダリアが飾られ、居間には趣向を凝らしたクリスマスの飾りつけがなされていた。壁には日々の暮らしが分かる写真や利用者自作の俳句の短冊が整然と貼られ、利用者が説明してくれた。利用者は畳の間や日当たりのいい場所に設置されたソファ等で、思い思いに過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関先にはベンチ設置し、四季折に庭の花や 菜園を眺めて心が癒されている。リビングにはソファで利用者同士がくつろぎの居場所となっていて、季節に応じて畳みの間でコタツで団らん出来る自由に仲間同士で支え合いながら継続できるような環境に努めている。同席者同士で新聞読んで内容を語り合ったり、時には職員に教えて頂いたり個々の思い思いに過ごされている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 住み慣れた環境が継続出来るように自室には、使い慣れた物や好みの物があり、大切に活かせるように支援している。家具や置物 テレビラジオ等家族 利用者と一緒に相談しながら日々活用しやすいように四季に応じて配置等にも配慮している。個々の状況にて、不安やストレスにならないよう、安全 安眠 居心地よく過ごせるように更なる室内環境に努め考慮している。</p> <p>(外部評価) 居室のドアには、近隣の方がプレゼントしてくれた折り紙のサンタクロースや造花を飾っていた。ベッドの布団は、起床後には足元に畳んで置き、天気の良い日には干せるよう支援している。枕元にラジオを置いて、NHKの放送を聴いている方もある。ご主人の遺影の前で、般若心経を唱えることを日課としている方もある。職員や他の利用者も寄せ書きした、誕生日の色紙が貼られていた。各居室に温度計を設置して室温管理をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) ひとり一人の力を見極め、不安や混乱に陥ることなく、安全で自立した生活が送れるように全ての職員で検討し環境整備に努めている。食事時には、配膳 下膳 食器洗浄等自らされたり、室内の生け花したり、得意分野が共有出来るように支援している。</p>	